

スマートモビリティチャレンジ 地域シンポジウムin九州

参加費
無料

～データを活用した課題解決型ビジネスの創出を目指して～

開催のご案内

少子高齢化やデジタル技術の進展など、私たちの生活環境が大きく変化するなか、我が国においては、地方における豊かな暮らしの実現に向け、官民一体となった「まちづくり」や「公共交通」の一体的な推進が進められようとしています。

この度、九州経済産業局は、九州における地域課題の解決にあたり、様々な主体がデータを活用することで効果的に解決策を導き出すことを目的として、今年度「地域課題解決におけるデータ活用ワークショップ」及び「特定地域における新しいモビリティサービスの仮説構築」に取り組んでまいりました。

本シンポジウムでは、これらの取組を報告するとともに、モビリティサービスにおけるデータ活用、地域データに基づく特徴を活かした企画立案の重要性と具体的な手法等についてご紹介します。

また、国内外の取組事例・最新動向の情報をシェアし、モビリティ分野における地域課題解決やビジネス創出の可能性について、産学官の有識者をお招きしたパネルディスカッションを開催します。

開催
日時

令和5年2月20日(月)

14時30分～17時00分

(会場は14時から受付開始)

開催
方法

会場、およびオンライン
(Microsoft Teams)

※視聴URLは、お申し込みを頂いた方に
シンポジウム前日にお知らせします。

会場

福岡システムLSI

総合開発センター 2階

会議室A・B室

(福岡市早良区百道浜3-8-33)

定員

会場参加100名程度、
オンライン(制限なし)

プログラム

14時30分	開会挨拶 九州経済産業局 地域経済部長 柴谷 昌宏
14時35分	基調講演Ⅰ「経済産業省における自動走行に関する取組」 経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室 課長補佐 井澤 樹 氏
15時10分	基調講演Ⅱ「新たなモビリティサービスとは」次世代モビリティの可能性 モビリティジャーナリスト 楠田 悦子 氏
15時50分	データ活用ワークショップ実施報告 株式会社グルーヴノーツ TECH PARK Div. ディレクター 赤星 良輔 氏
16時00分	地域モビリティサービスの仮説構築におけるデータ活用 九州大学大学院 システム情報科学研究院准教授 峯 恒憲 氏 宗像市都市再生課 参事兼地域政策係長 許斐 知加 氏
16時20分	パネルディスカッション (テーマ:スマートモビリティが地域課題を解決するには) (※登壇者は変更になる可能性があります) (ファシリテーター)熊本学園大学 経済学部 教授 溝上 章志 氏 (パネリスト)株式会社グルーヴノーツ 代表取締役会長 佐々木 久美子 氏 モビリティジャーナリスト 楠田 悦子 氏 宗像市都市再生課 参事兼地域政策係長 許斐 知加 氏
17時00分	閉 会

※会場では終了後に名刺交換会を行います。

申し込み方法・参加にあたって

以下ウェブフォームよりお申し込みください。(申し込み〆切:令和5年2月17日(金) 12:00)

<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kyusyu-johoseisaku/maas0220>

※オンライン形式(Microsoft Teams)では、入室時に設定した登録名が画面に表示されます。個人情報保護の観点から、シンポジウム当日は、公表可能な名称の設定をお願いします。(ご参加いただくための入室用URLをお知らせする際にも、改めてご案内いたします。)



個人情報の取扱について

お申しいただいた個人情報については、事務局(九州経済産業局、一般社団法人EMoBIA(本事業に係る委託事業者)及び講師が、本シンポジウムの運営に関する業務にのみ使用いたします。また、ご提供いただいた個人情報は、事務局においてその保護について万全を期すとともに、ご本人の同意なしに事務局及び講師以外の第三者へ開示、提供することはありません。

本件に関する問い合わせ先

九州経済産業局地域経済部デジタル経済室

担当者: 春口、原

電話:092-482-5552 FAX:092-482-5538 E-MAIL:kyushu-iot@meti.go.jp

主催:経済産業省九州経済産業局 後援(予定):国土交通省九州地方整備局、国土交通省九州運輸局、一般社団法人九州経済連合会

スマートモビリティチャレンジ 地域シンポジウムin九州

講師紹介

基調講演I

経済産業省における 自動走行に関する取組



経済産業省 製造産業局
自動車課 ITS・自動走行推進室
課長補佐 **井澤 樹** 氏

2008年 経済産業省に入省。製造産業局総務課、資源エネルギー庁資源・燃料部石油・天然ガス課、通商政策局国際経済課、経済産業政策局地域経済産業政策課等を経て、2021年8月より現職。主に自動走行に関する実証プロジェクトを担当。

基調講演II

「新たなモビリティサービスとは」 次世代モビリティの可能性



モビリティジャーナリスト
楠田 悦子 氏

心豊かな暮らしと社会のための、移動手段・サービスの高度化・多様化と環境について、分野横断的、多層的に国内外を比較しながら考える。自動車新聞社のモビリティビジネス専門誌「LIGARE」初代編集長を経て、2013年に独立。「東京モーターショー 2013」スマートモビリティシティ 2013 編集デスク、西宮市都市交通会議の有識者委員、自転車の活用推進に向けた有識者会議の委員。自治体の地域交通や国の有識者会議委員、講演、プロジェクトのコーディネーター、プロモーションツールの作成など、活動は多岐に渡る。

データ活用ワークショップ 実施報告



株式会社グルーヴノーツ
TECH PARK Div.
ディレクター **赤星 良輔** 氏

大学卒業後、NPO法人にて高校生・大学生向けのキャリア教育を企画・実施。Uターンし、Webデザイナーやエンジニアを育成するスクールに転職。200名超の人材育成や就職に関わる。その後、グルーヴノーツに転職し、ITアフタースクール「テックパーク」の事業立ち上げを担当。現在、教育機関・法人に向けたAI教育支援/研修サービスや教育事業コンサルティングに従事。

地域モビリティサービスの 仮説構築におけるデータ活用



九州大学大学院
システム情報科学研究院
准教授 **峯 恒憲** 氏

人工知能、特にデータマイニング、テキストマイニング、情報推薦について研究を行っています。様々なデータを組み合わせることで現在の活動課題・情報を可視化し、示唆を得て、様々な仮説を構築することで、データに裏付けされたオンデマンドバスの地域課題・社会課題を把握し、データに基づく最適な遠隔制御による無人自動運転オンデマンドバスサービスに向けた仮説の獲得と構築を目指します。

地域モビリティサービスの 仮説構築におけるデータ活用

宗像市 都市再生部都市再生課

参事兼地域政策係長 **許斐 知加** 氏

宗像市役所に入庁後、経営企画課、教育委員会、都市計画課など、教育・まちづくり部門を経て、令和3年4月から都市再生課で交通を担当。オンデマンドバスの利用普及に取り組んでいる。遠隔制御による無人自動運転オンデマンドバスサービスの検討・仮説構築事業を今後の交通再編にどのように活かすことができるか検討している。

スマートモビリティが 地域課題を解決するには



(ファシリテーター)
熊本学園大学 経済学部
教授 **溝上 章志** 氏

熊本市では、民間バス事業者の経営不振と市営バス事業の民間移譲を契機に、2008年～2011年の「バス輸送のあり方検討協議会」、2012年からの「熊本市公共交通協議会」での熱い議論の成果として、我が国では例を見ない先進的な公共交通の再デザイン案が提案され、順次実装してきましたが、そこに学術の立場からコミットしてきました。その他、(社)九州経済連合会交通委員会企画部会委員、(社)EMoBIA特別会員(大学関連リーダー)などを歴任しています。

スマートモビリティが 地域課題を解決するには



(パネリスト)
株式会社グルーヴノーツ
代表取締役会長 **佐々木 久美子** 氏

小学校5年生のときにプログラミングに出会い、プログラマー、システムエンジニア、会社役員を経て、2011年に株式会社グルーヴノーツを設立。代表取締役社長を経て、2012年に現職。2016年4月テクノロジーと遊ぶアフタースクール「TECH PARK(テックパーク)」を福岡・天神に開校。日々進化を続け社会で活用されるAIなど最新テクノロジーを、子どものうちから正しく理解して好奇心をもって学べる教育プログラムの開発に取り組み、テクノロジー教育の普及に努める。量子コンピュータやAIを活用できる法人向けクラウドプラットフォーム事業「MAGELLAN BLOCKS(マゼランブロックス)」を展開。